

## 2022年(令和4年)5月オホーツク管内倒産集計

2022年6月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

### 5か月連続で発生ゼロ 倒産件数は緩やかに増加も

#### 5月の発生ゼロは8年ぶり

■前月比	件数	同数(2022年4月)	0件)
	負債総額	同数(	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(2021年5月)	1件)
	負債総額	2億6,000万円減少(	2億6,000万円)

#### 2022年5月の発生状況

2022年5月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)の発生はゼロだった。前月に続いて発生がなかったため、前月比で件数、負債総額ともに同数。前年同期比では件数で1件、負債総額は2億6,000万円のそれぞれ減少となった。

過去5年間の5月の発生状況を見てみると17年・18年各2件、19年・20年・21年各1件の推移で、平均発生件数は1.4件、同負債総額で1億9,700万円であるが、今年は発生ゼロに止まっており、5月に発生がなかったのは2015年5月以来8年ぶりとなった。これで5か月連続発生ゼロとなり、過去を遡っても前例のない低水準で推移している。

## 2022年1～5月の発生累計

過去5年間の1～5月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は7.8件、同負債総額は7億4,138万円。過去2年ともに発生7件と平均値内で推移していたが、今年の発生件数はゼロに止まっており、過去5年では件数、負債総額ともに最低であるうえ、それ以前を見ても前例のない低水準で推移している。

過去5年間と今年1～5月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2017年	13件	6億1,900万円
2018年	8件	10億5,400万円
2019年	4件	2億5,090万円
2020年	7件	11億8,600万円
2021年	7件	5億9,700万円
2022年	0件	0円

## 今後の見通しと問題点

オホーツク管内の倒産件数はコロナ関連の支援策等によって歴史的な低水準が続いている。これまで大きな不安要因であったコロナ禍は、行動制限がなくなり、人の流れが出始めているうえ、一部条件付きながら10日から外国人観光客の入国が再開されるため、飲食・観光関連業界の回復が予想される。

しかし、円安やウクライナ情勢を反映した燃料や原材料の価格上昇に伴い、幅広い製品の値上げが今後さらに加速する見込みである。一次産業をはじめ、建設業、運送業、製造業など多くの業種でコストアップとなるえ、販売価格に転嫁できない企業も多く、収益悪化が見込まれる一方、コロナ禍で落ち込んでいた個人消費がさらに冷え込む懸念もある。こうした価格上昇がコロナ禍に変わる懸念材料となっており、倒産件数は秋口にかけて緩やかに増加を辿る可能性がある。

